

金屋町通信

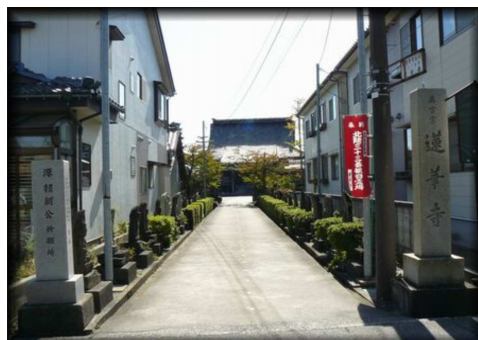
発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行・編集 責任者：

般若慎一郎

以前に機会があつて蓮花寺町の蓮花寺を見学したことがありました。地名の蓮花寺はこの寺が存在したことからついたそうです。更に、庄川を隔てて隣接する大門町の地名は、この寺の大門に面していたことからだそうです。その昔は寺の敷地がもっと広大であったこと、昔の庄川は千保川の支流で小さな川であったこと、洪水のたびに川筋が変化したことなどを考えると、へえ〜そうだったのか、と思いました。



さまのこハウス オープンセレモニー

金屋町元気プロジェクトが整備してきた居住体験宿泊施設「さまのこハウス」が完成し、5月12日にオープン記念イベントを開催しました。

高岡西部中学校の生徒約60名による吹奏楽演奏に始まり、元気プロジェクト理事長の加藤昌宏さんが挨拶し、



富山県知事・高岡市長から祝辞を頂き、高岡商工会議所会頭の発声でヤクルトの乾杯をしました。他にも三協立山株式会社・高岡信用金庫理事長・北日本新聞高岡支社長・富山大学芸文学部長・施行した(株)プロデュース社長らに臨席

していただきました。

金属工芸工房かんかななどの協力を得て餅つきをし、焼きそばを焼いて、来場者に振る舞いました。内部を公開し見学していただきました

が、多くの金屋町住民の方々が訪れて想像以上に賑わい、盛り上りました。

今後は実際に移住を考えている方々に利用していただき、金屋町や高岡市の人口減少に歯止めをかける拠点となるよう期待されます。

鳳鳴橋の補修工事

鳳鳴橋でなにやら補修工事をしていますが、欄干に工法の紹介かんばんがかかっています。それによる



とこの橋は昭和28年に供用開始、昭和59年に歩道部分が増設され鳳凰像が設置され、今年で65年経過している。

コンクリートを部分的にはつり、錆で傷みかかっている内部の鉄筋に改めて防錆処理をしたり、コンクリートに出来たひび割れに補修材料を注入したりという延命治療のようです。6月29日までと看板に書いてありました。

平成の御車山 完成披露式

4月30日に御車山会館において、平成の御車山の完成披露式典がありました。

平成の御車山は、御車山の現代版を今の時代の市民の力を集めて1から創ることで、400年以上にわたり高岡で受け継がれてきた伝統技術を次世代に伝え、未来への発展を示すシンボルとするために企画されたもので、2013年度から5カ年にわたって制作しました。制作費2.8億円のうち約8千万円は寄付によって集められました。



金工、木工、漆工など高岡市とその周辺の技術の粋を集めて製作されましたが、胴体の幔幕や人形の衣裳など布部分は京都で作られたものです。幔幕は古城公園の太鼓橋あたりの四季を表現していて、一見すると筆で描いたように見えますが実は千に近い色糸を作り、織り上げたものと聞いてびっくり。

銚留の鳳凰は金色に輝いていますが金属ではなく、井波彫刻を金箔で仕上げたものです。尾はヒノキの薄板を金属線で補強し、実際に奉曳

した時にゆらゆらと揺れることを狙って作ったそうです。

とりあえずは展示されていますが、実際に動く姿も見たいものですね。

コレクション展 高岡の金工と漆芸



般若保《吹分花器》(2016)

高岡市美術館では「日本伝統工芸富山展」開催に時期を合

わせて、所蔵するコレクションの中から高岡ゆかりの金工と漆芸の代表作を絞り込み、首題の展示を行なっています。初代畠春斎さんの俵の形をした釜や、般若保さん・立川善治さん・大澤光民さんなどの铸造作品もあります。

「日本伝統工芸富山展」は有料ですが「コレクション展」は観覧無料です。いずれも6月10日までの会期です。

なお展覧会に関連して「手わざ〜伝統工芸」と題し、村上館長と金工の般若保さん・漆芸の林暁さんとのトークショーが開催されます。6月1日(金)午後2時〜3時、御旅屋セリオ6階特設会場にて、入場無料です。

4月の金屋町拡大会議

- ・西条校下・水害想定図上訓練(5月22日、西条小学校)について
- ・金屋町自主防災役員および隊員等の見直しについて
- ・有磯神社御神幸祭について
- ・さまのこハウス・オープンセレモニーについて
- ・御印祭準備について
- ・その他